

情報科教員を対象としたオンライン実践コミュニティ 「情報科教員 Hub」の課題と展望

Challenges and Prospects of the online community of practice (OCP) "Informatics Teachers' Hub" for informatics teachers

松島 拓路^{*1,2}, 江川 良裕^{*1}, 喜多 敏博^{*1}, 中野 裕司^{*1}

Takumi MATSUSHIMA^{*1,2}, Yoshihiro EKAWA^{*1}, Toshihiro KITA^{*1}, Hiroshi NAKANO^{*1}

^{*1}熊本大学大学院教授システム学専攻

^{*1}Graduate School of Instructional Systems, Kumamoto University

^{*2}福岡県立明善高等学校

^{*2}Fukuoka Prefectural Meizen High School

Email: tmatsushima@st.gsis.kumamoto-u.ac.jp

あらまし：今年度から大学入学共通テストに出題されるようになるなど、教科「情報」の重要性は年々高まっている。一方で、指導者に関してはいくつもの課題がある。そのような現状を受けて、筆者は情報科教員を対象としたオンライン実践コミュニティを運営している。本稿では、筆者が運営しているオンライン実践コミュニティの説明と、そこで実施している勉強会について報告し、課題と展望について述べる。

キーワード：教科「情報」、オンライン実践コミュニティ、教員、学習支援システム、情報科

1. はじめに

教科「情報」の重要性は年々高まっており、いよいよ 2024 年度から大学入学共通テストにも導入される。一方で、指導者についての課題は多い。文部科学省(2023)の調査では、2023 年 5 月 1 日時点において、29/65 の都道府県・政令指定都市で計 192 人の教員が臨時免許状や免許外教科担任で授業を受け持っていることが報告されている⁽¹⁾。前回の調査から大幅に改善されてはいるが、これは大学等で専門的に情報科学や情報科教育を学んでいない教員が教壇に立たされているということである。また、かつての教科「情報」の新設および必修化の際に現職教員を対象とした認定講習や教員資格認定試験において免許状を取得した教員が担当しているケースも多い。このような教員にとっては、授業や受験指導が相当な負担になっていることが窺い知れる。また、中山ら(2016)によると、2015 年時点で教科「情報」のみを担当している専任教員は全体の 20%程度であり、半数以上が他教科と兼任で担当しているということが報告されている⁽²⁾が現在もこの割合はあまり変化していないと思われる。さらに、単位数の関係から、情報科の教員は 1 校に 1 人しか配置されていないケースも多く、このような状況は情報科教員の不安感や孤立感を引き起こす原因となっている。

2. オンライン実践コミュニティ「情報科教員 Hub」

上記のような現状を受け、筆者はオンライン上に情報科教員向けのコミュニティを作れば学校や地域を越えた相互支援の場とすることができるのではないかと考えた。指導不安感や孤立感を軽減し、教育改善に繋げることを目的としている。2022 年 9 月からナレッジコミュニティ型学習支援システムを構築

し公開してきた。アカウントの発行は承認制とし、所属や名前を明らかにした上で、承認を受けてログインしないと利用することはできないようにしている。このシステムについては 2023 年に、利用者に対して実施したアンケートの結果を報告しており⁽³⁾、利用者の大半が使いやすいと評価していて、不安感や孤立感も軽減したと回答した一方で、利用目的としては他の教員とのコミュニケーションではなく情報収集と自己研鑽が主であり、相互支援が実施されている割合は低いということがわかっている。

2023 年 10 月からは、上記のシステムをベースに、情報科教員 Hub (<https://joho9db.net>)という名前で、情報科教員を対象としたオンライン実践コミュニティとして運営している。2024 年 5 月 26 日時点で、268 名のユーザー登録がある。ユーザーの構成は、高校教員 192 人(71.6%)、中高一貫校教員 28 人(10.4%)、大学生・院生 16 人(6.0%)、大学教員 9 人(3.4%)、中学校教員 2 人(0.7%)、その他 21 人(7.8%)となっている。その他には ICT 支援員や塾・予備校関係者が含まれる。また、指導主事や校長等も教員の方に含めている。

本稿では、月に 1 度開催している勉強会についての報告と、今後の課題と展望について述べる。

3. 情報科教員 Hub における勉強会

本コミュニティでは、2024 年 3 月から月に 1 度のペースで勉強会を行なっている。これまでに 3 回、Web 会議システムを用いてオンラインで開催してきた。内容は数件の発表(事例紹介等)と少人数での情報交換であり、1 時間程度の時間をとっている。発表者は、筆者が直接依頼したり勉強会の最後に次回以降で発表ができる方を募集したりして確保している。参加者については、事前にシステム上やメーリングリスト、SNS で告知をして参加を募っている。

